

## 【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 9 月 19 日（金）  
地区 四郷小学校区  
会場 四郷コミュニティセンター  
参加者数 27 人



### 《質問・意見》

松阪の人が、伊勢市の行方不明者の放送を聞いて高齢者に優しい取組だと感心していたので報告する。

2 学期制のことだが、全国的にも採用しているのが 25% 程度であるし、大学では逆に 4、5 学期制の導入を目指している。2 学期制は試験の回数が少なくなるなど、心配な点が多い。直接の責任者ではないが、市長はどのように考えているのか。

### 《回答》【市長】

我々が直接踏み込めることではないので、このお話は教育委員会にきちんと伝える。一番大事なの中身であり、子どもたちにどのような教育をしていくかが大事であるので、こういったご意見を参考に教育行政を進めていきたい。少人数制の導入による成果も現れつつあるので、今後も教育行政に力を入れていきたい。

### 《質問・意見》

2 学期制のメリットは何か。

### 《回答》【市長】

子どもたちのカリキュラム、授業時数を多く確保できると聞いています。

### 《意見》

授業時数が確保できるというが、始業式や終了式の減った分だけであり、一日のことである。それぐらいならすぐ取り戻せる。

《質問・意見》

ふるさと未来づくり条例についてだが、附則のところ施行日しか載っていない。すでに立ち上がった所に対してはどのように考えるのか。

地域自治と書かれているが、住民等が責任を持ってまちづくりを行うというのであれば住民自治ではないのか。

認定の取り消しとは、どのような手続きを経るのか。取り消されたらどうなるのか。

《回答》【環境生活部参事】

施行日の件については、現在も要綱に沿って活動いただいております、条例になったところで何も変わるものではないが、設立の書類を若干作成いただく必要がある。

認定については、公金を使っていただく以上、使途に問題があれば指導をさせていただき、それでも従っていただければ取り消させていただくこともあるということである。

《質問・意見》

取り消されたら協議会はどうなるのか。

《回答》【市長】

行政が認めないからといって、地域の方が自主的に活動するのを妨げるものではない。

《質問・意見》

取り消される前に指導が必ずあるはずなので、そのとき直せばいいのではと思う。

《回答》【市民交流課長】

地域自治か住民自治かについては、いろいろな議論があったが、地域全体での活動ということを抑え、地域自治と決めさせてもらった。

《質問・意見》

新しい自治制度を目指すということだが、自治基本条例を意識したものなのか、違うものなのか。

《回答》【市民交流課長】

従来どおり自治区単位でがんばっていただく部分もあるが、自治会を越えた小学校区で自治を目指すのが新しい部分である。

自治基本条例は、自治体の憲法的な部分であるが、ふるさとみらいづくり条例は制度条例である。

《質問・意見》

休日になると、楠部町内はいつも渋滞する。陸上競技場で国体が開催されることから、国体に間に合うよう館町通線の拡幅、朝熊 I C と競技場を結ぶ道路の建設を国・県に要望してほしい。またこの問題は伊勢市と合併した際の約束でもある。

《回答》【市長】

館町通線と御側橋の拡幅についての話は進めている。改めて県にも働きかけていく。

《質問・意見》

団塊の世代について老人ホーム等は足りているのか。

《回答》【市長】

特別養護老人ホームに関しては3年前のデータだが、1400人程待機している。団塊の世代の方を受け入れることは、特別養護老人ホームやデイサービス等すべてを含め、広域的に見ると可能であるが、寝たきりの方等を世話する施設は足りていないのが現状である。

《質問・意見》

四郷地区の老人のための憩いの場として、投棄場を活用してほしい。例えば、足湯として。その施設と地域とを結ぶおかげバスを走らせてほしい。

サッカー場付近の街灯を、もう少し洒落たものにしてほしい。

《回答》【市長】

努力はしていきたいと思っている。今日の回答はこのぐらいにしておきたい。

《質問・意見》

共助というのが非常に難しい。きちんと検証して取り組んでいかないと、市長の思うまちづくりにつながらないのではと思っている。

各部署で取り組んでいることが市民交流課に集まるようなシステムを作ってほしい。

各地で避難タワーを作っているが、寝たきりの人の避難をどうしていくのかといったことが整理されていないのではないか。ハード整備だけでなくソフトの整備も大切ではないか。

みんなが一致団結して取り組んでいくシステムとするにはどうすればいいのかも、検討すべきである。

《回答》【市長】

基本的な人間同士のつきあいというものから考えていく必要があるのではと考えている。

要介護者の方の避難については訓練を重ねていく必要があると思う。また、自治会での議論を重ね解決策を見出してほしいし、できない部分については市も考えていく。

《意見》

うまく機能している自治会があると思うので、そういった自治会を参考にできるように

してみてもと思う。

《質問・意見》

ふるさと未来づくりの役員の高齢化が進んでいることを心配している。  
また、市の資金的な担保はどうなっているのかを教えてください。

《回答》【市長】

各組織で若い人が取り組めるよう努力をお願いしたい。  
資金的な援助は当面の間はこのまま続けていくが、枠にとらわれない特例というものも設けていきたいと考えている。